

令和2年度 自己評価書

学校名	和歌山市立西浜中学校
校長氏名	芝 裕二
作成日	令和3年2月16日

1 教育目標

創造力に富んだ心豊かでたくましい生徒の育成
～自ら学び、ともに生きる～

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	1. 授業がわかりやすい生徒の割合 2. 県学習到達度調査の正答率	1. 学校生活が充実している生徒の割合 2. 特設授業や体験活動、学習活動後の感想	1. 朝ごはんを食べている子どもの割合 2. 体力テスト結果	1. 家庭と学校の連絡が十分と思う保護者の割合 2. 学校運営協議会委員評価 3. 地域との交流回数
重点目標 【P】	◎基礎・基本の確かな定着 ◎学び合い、高め合う学習集団の育成 ○主体的に学ぶ姿勢の育成	◎生徒会活動を核とした体験的学習の推進 ◎道徳・人権教育の充実 ○いじめの未然防止、早期発見	◎体力向上の推進 ◎基本的生活習慣の確立 ○交通安全指導の充実 ○危機回避能力の育成	◎共育コミュニティ事業の推進 ◎西浜地域共育協議会の拠点校として、同窓会組織「浜友会」、PTAなど各種団体との連携
取組の状況 【D】	スクールプランで示した具体的な取り組みを、概ね実施できたが、補充学習は十分ではなかった。	スクールプランで示した具体的な取り組みを、概ね実施できた。	スクールプランで示した具体的な取り組みを、概ね実施できた。	コロナ禍で行事を縮小したため、学校行事等の案内、地域事業への参加・協力、学校開放月間が十分ではなかった。
取組の成果と課題（評価結果） 【C】	【成果】 指標1 目標:90% 結果:92% 指標2 目標:平均以上 結果:1教科平均以上 4教科平均以下 【課題】 学び合いの授業づくりの継続と家庭学習の意識づけが必要である。	【成果】 指標1 目標:90% 結果:91% 指標2 人権学習や情報モラル教室等で生徒の学びが感じ取れる。 【課題】 取り組みの継続と今年度は実施できなかった職場体験学習を実施。	【成果】 指標1 目標:90% 結果:睡眠やバランスの取れた食事79% 指標2 目標:平均以上 結果:体力テストは実施できず。 【課題】 取り組みを継続し、意識向上を図る。	【成果】 指標1 目標:80% 結果:68% 指標3 目標:のべ10回 結果:のべ10回以上 【課題】 取り組みの継続とさらなる発展。共育コミュニティとの連携を充実させる。
改善方法 【A】	○ICT機器の効果的に活用する授業改善を進める。 ○補充学習に取り組み、基礎・基本の定着を図る。 ○家庭学習の意識づけを継続する。	○職場体験学習の実施が次年度も困難であることから、それに代わる取り組みを考え実践する。 ○ゲストティーチャーの活用幅を広げる。	○基本的な生活習慣や体力向上についての啓発を進める。 ○交通安全指導、防災教育に一層力をいれたい。	○地域資源の活用を図る。 ○保護者に学校の様子を伝える方法を広げる。 ○小学校との連携。

3 その他の課題

- 学校施設・設備の老朽化
- 生徒個々に応じた指導や支援
- 教職員の働き方改革